

第18回 原子力建築運営委員会 議事録

日 時：2014年6月20日（金） 14:00～17:00

場 所：日本建築学会 202 会議室

出席者：北山（主査：首都大）、梅木（中部電、中川幹事代理）、
（敬称略）瀧口（東工大）、橋高（首都大）、前田（東北大）、楠（東大）、菊地（東電）、
山田（関電、伏見委員代理）、川里（原電）、大澤（北海道電、齋藤委員代理）、
尾形（東北電）、小竹（北陸電）、阿比留（中国電）、細川（四国電）、
一徳（九州電）、武井（電源開発）、棟方（原燃）、辻（原安進）、
田中（大林、今塚委員代理）、兼近（鹿島）、三浦（清水）、小野（大成）、
神地（竹中）【下線__は欠席者】

（ワザハ）諏訪（中部電）、澤田（鹿島）、光木（大成）、前中（竹中）

- 資 料：18-1 第17回 原子力建築運営委員会 議事メモ（案）
18-2-1 2014年度の原子力建築運営委員会の検討体制
18-2-2 2014年度 原子力建築運営委員会委員名簿（案）
18-2-3 原子力関連学協会規格類協議会 開催実績
18-3-1 2014年度 耐震構造評価小委員会 年間スケジュール（案）
18-3-2 第7回 原子力建築物維持管理小委員会 議事録（案）
18-4-1 2014年度大会研究集会 資料作成申請書
18-4-2 2014年度大会 PD 作業スケジュール（案）
18-4-3 原子力発電所建築物の寿命を考える 主旨説明
18-4-4 原子力発電所の維持管理
18-4-5 建築学会の維持管理指針 ～維持管理の基本～
18-4-6 劣化事象と劣化要因
18-4-7 原子力施設における建築物の維持管理指針 「点検と健全性評価」
18-4-8 運転期間延長認可制度と特別点検の概要
18-4-9 大地震に備えて ～想定された宮城県沖地震への対応（女川原子力発電所）～
18-5-1 AIJ 建築雑誌 2014年10月号原稿 北山和宏
18-5-2 「建築雑誌」2014年10月号企画（構造特集）原稿 瀧口克己

議 事：

第18回の原子力建築運営委員会として、本年度の活動状況について確認するとともに、各小委員会の活動状況について報告を受け、2014年度大会パネルディスカッションなど、今後の進め方について議論を行った。

主な議事を以下に示す。

[前回議事録について]

- ◆ 梅木幹事代理より、第17回原子力建築運営委員会議事メモ（案）について説明があった。[2014年度パネルディスカッションについて]中の3項目め（東北電力担当予定）の記述については、内容が細かすぎるため議事メモには載せないことで了承された。

[運営委員会の本年度活動について]

- ◆ 梅木幹事代理より、2014 年度の原子力建築運営委員会の検討体制及び 2014 年度原子力建築運営委員会 委員名簿（案）について説明があった。
- ◆ 今回より委員構成が大幅に変わったため、原子力建築運営委員会出席委員全員の自己紹介を行った。
- ◆ 梅木幹事代理より、かねてから AIJ に協力要請のあった「原子力総合シンポジウム」に関しては、今回報告事項はないとの説明があった。

[三学協会連絡会の状況について]

- ◆ 梅木幹事代理より、三学協会連絡会の報告として、第 36 回原子力関連学協会規格類協議会（3/11）の議事録について紹介があった。第 37 回（6/17）については、議事録がまとまりしだい本委員会にて紹介する。

[各小委員会の本年度活動状況について]

- ◆ 梅木幹事代理より、2014 年度の耐震構造評価小委員会の活動内容及びスケジュールについて説明があった。本年度は、耐震裕度の評価方法及び評価指標の検討を行い、評価ガイドラインの骨子をまとめる。
- ◆ 梅木幹事代理より、2014 年度の原子力建築物維持管理小委員会の活動内容及びスケジュールについて説明があった。本年度は、「原子力施設における建築物の維持管理指針・同解説」改定案を取りまとめ、次年度刊行を目指す。なお、スケジュールは改定検討の進捗に伴い、構造委員会への上申時期等、見直しを行ったものであり、刊行時期はこれまでに比べ 2 か月遅くなっている。
- ◆ 北山主査より、指針改定スケジュール中に構造本委員会にかかるタイミングを記載すること及び運営委員会での査読前に維持管理小委員会での査読も行うことの 2 点要望があった。

[2014 年度大会パネルディスカッションについて]

- ◆ 梅木幹事代理より、2014 年度大会研究集会資料作成申請書及び PD 予告原稿を提出した旨の報告があった。提出原稿では、AIJ 事務局と協議のうえ、一部表現の修正を行っている。
- ◆ 梅木幹事代理より、2014 年度大会 PD 作業スケジュール（案）について説明がなされた。
- ◆ 各執筆担当より、2014 年度大会研究集会予告原稿（案）について説明がなされ、議論を行った。主な、コメントは以下の通り。

(主旨説明)

- ・趣旨説明は、1 段組みで作成する。

(原子力発電所の維持管理)

- ・原子力発電所の配置や建物名称等の全体像がわかる図を追加する。

(維持管理の基本)

- ・現状の維持管理の紹介に重点をおくため、最近の規制で強化されている耐火性に係る要求などは特に記述しないが、PD の中でそれらを取り上げることができないか、検討する。

(劣化事象と劣化要因)

- ・次期改定に取り込める新たな知見については、なるべく記載する。

(点検と健全性評価)

- ・主旨説明と重複する部分があるため、内容を整理する。

(運転期間延長認可制度と特別点検)

- ・使用される用語がもう少しわかりやすくなるよう、解説を加える。

(想定された宮城県沖地震への対応)

- ・図中に使われている「ひびわれが発生する変形角」や「弾性限耐力」の意味が分かりにくいので、書き方を検討する。

- ◆ 梅木幹事代理より、各執筆担当が集まって調整する場を設けることの提案がなされ、了承された。原稿の取り纏め窓口は梅木幹事代理が担当する。

[建築雑誌 2014 年 10 月号の原稿について]

- ◆ 北山主査、瀧口委員より AIJ 構造系小委員会の各主査に対し、建築雑誌の執筆依頼があったことの報告があり、その原稿案が紹介された。

[その他]

- ◆ 次回の原子力建築運営委員会は、2014/9/30（火）14:00～に開催する。

以上